



愛腎協 かわらばん

患者の、患者による、患者のための愛腎協

第 133 号 編集：(一社) 愛知県腎臓病協議会事務局 発行：平成 28 年 9 月 8 日

災害時に被災者を輸送

～参考資料「東海日日新聞社」「豊鉄ホームページ」～

平成 28 年 8 月 18 日 (木) 豊橋市が豊橋市の豊鉄バスと豊鉄観光バス、東神観光バスの 3 社と「災害時におけるバス利用に関する協定」結んだ。この協定は、大規模な災害等が発生した際に、負傷者の医療機関等への搬送や帰宅困難者の避難所への輸送、また透析患者や定期的な治療が必要な被災者を診療可能な遠隔地の医療機関へ移送、他の物資輸送なども視野に入れた協定内容で、豊橋市からの要請を受け、災害発生時にバスを利用しての搬送に協力するものです。

「豊鉄ホームページ」より

佐原光一豊橋市長は「災害時には多くの人の移動が必要となる。これからも連携を深めていきたい。」と感謝の言葉を述べた。 「東海日日新聞社」より

☆以前より豊橋市腎友会が豊橋市災害対策課を訪ね、「災害時に他市町村に透析患者の移送について」豊橋市議会に毎年陳情を提出した成果である。

第 23 回腎不全キャンペーン講演会開催

平成 28 年 8 月 28 日 (日) 10:00～14:30。吹上ホール 7 F メインホールで第 23 回腎不全キャンペーンが開催された。参加者は約 250 名。講演は四講演行われた。1 番目の講演は、タイトルが「リンが老化を加速する?」。講師は、自治医科大学の分子病態治療研究センター抗加齢医学研究部 黒尾 誠教授。



主催挨拶する前田憲志先生

以前から高リン血症については医師から注意を促されていたが、今回老化にも影響していると聞いて、きちんと食事管理をしないといけないと認識を新たにしました。2 番目は前田憲志先生による講演。講話の中で、糖尿病性腎症から透析に導入されるのは患者全体の約半分と聞いていたが、高齢化にともなう腎硬化症からの透析導入が多くなってきたと聞いて、ますます高齢化対策に病院も患者会も取組まなければならないと感じた。ほかの 2 つの講演も、とても実のある内容で、参加者の皆様も真剣にメモをとって熱心に聞いていた。

第3回市民公開講座開催

平成28年8月7日(日) 東三河本部・豊橋市腎友会主催による「第3回市民公開講座」が豊橋市保健所講堂で行われました。参加者約120名。

■プログラム

第一部／糖尿病と腎臓病を防ぐ生活と食事

講師：安田宜成先生（名古屋大学准教授）

第二部／糖尿病から腎臓を守る優しい食事

講師：鈴木富夫先生（名古屋文理大学准教授）

第三部／あなたの足は大丈夫？足のトラブルを防いで元気に歩こう

講師：加納智美先生（日本フットケア学会副理事長）

※「とよあしネットワーク」による足の体験会が同時開催

■参加者感想

3つの講演とも非常にわかりやすく、もっとじっくり聞きたかった。2時間では少し時間がたりなかった。

※参加者は新聞折込や市内の医療機関のチラシを見て来てくれました。

その他の活動報告

- 8月4日(木)：民進党県議会議員団との懇談会
- 8月8日(月)：公明党県議会議員団との懇談会
- 8月9日(火)：日本共産党県議会議員団との懇談会
- 8月21日(日)：愛腎協臨時理事会
- 8月21日(日)：NPO 法人岐阜腎友会大会（岐阜ふれあい福寿会館）

今後の予定

- 9月11日(日)：事務長・会計会議（愛知県白壁庁舎5F会議室）
：第1回広報委員会（愛知県白壁庁舎5F会議室）
- 9月17日(土)、18日(日)：第82回東海ブロック会議
（主催：三重腎友会 場所：津市）
- 9月18日(日)：第2回災害対策委員会
- 9月20日(火)：安城市市議会議員団との懇談会
（主催：安城市腎友会）（安城市役所6F会議室）